国際金融論 a 試験問題と解答(2008年7月実施)

以下の問題に答えなさい。いずれの問題も解答は少なくとも1つ以上ある。

#### 問題 1

投資家のAさんは、手持ちの資金で株式投資するか、あるいは国債を購入するか検討している。今期(t 期)、投資対象の企業の株価は一株あたり $Q_t$  円で、来年(つまりt + 1期)にかけての配当は $B_{t+1}$  円、来年の株価を $Q_{t+1}$  と予想したとする。一方、その資金を国債にまわせば利回りt で運用できる。

1.株価が「収益還元価格」に等しかったとする。株価はいくらか?

$$Q_t = \frac{B}{1+r}$$
,  $Q_t = Br$ ,  $Q_t = \frac{B}{r}$ ,  $Q_t = B+r$ 

- 2. この企業が来期(t + 1期)以降、配当をこれまでよりも 10%増加すると今期(t 期)に発表した。今期の株価はどうなるか?
  - . 今期は上昇しないが、来期以降上昇する。

今期上昇し、来期さらに上昇する。

今期上昇し、来期以降そのままで推移する。 (期待の影響は今期織り込まれる)

今期上昇するが、来期にはその情報が織り込まれるので来期以降下落し、元に戻る。

## 問題 2

毎年1株あたり10円の配当を支払う企業の株価が500円であったとする。ただし金利は年利2%である。以下の記述について正しいものを選べ。

投資家が合理的であれば、バブルは発生しないので、これが唯一の価格である。

投資家が合理的であっても、バブルは発生するので、500円以上の価格がつくことがある。 この場合、価格は安定する。

投資家が合理的であっても、バブルは発生するので、500円以上の価格がつくことがある。 この場合、価格は上昇を続ける。

投資家が価格の動きをバブルだと認識してもバブルは持続する。

#### 問題 3

不動産開発の方法として、銀行融資のほかに証券化という手段が考えられる。以下の記述について正しいものを選びなさい。

銀行融資の場合、融資を受けた不動産会社が開発された不動産を保有するが、証券化の場合、証券化のために設立された特別目的会社が保有する。

銀行融資の場合、開発された不動産は貸出の担保になることがあるが、証券化では開発された不動産を担保として証券が発行されることはない。

銀行融資の場合、不動産会社は借金の返済義務に縛られ、順次、開発物件に着手することが困難である。証券化の場合でも、この問題は解決しない。

証券化の場合、投資家は証券化した開発物件のリスクだけを負い、開発をおこなう不動産会社のリスクを負わない。これを倒産隔離という。

#### 問題 4

現在の日本の国債金利は1%、アメリカの国債金利は4%である。現在の為替レートは107円/\$である。市場は1年後の為替レートをいくらと予測していることになるか?

約105円/\$ 約107円/\$ 約109円/\$

### 問題5

日本の金融緩和が外国為替市場へ及ぼす効果について正しいのはどれか。

金利平価説に従えば円安となり、購買力平価説に従えば円高となる。

金利平価説に従えば円高となり、購買力平価説に従えば円安となる。

金利平価説に従っても購買力平価説に従っても、円安となる.

金利平価説に従っても購買力平価説に従っても、円高となる

#### 問題 6

2007 年 5 月から 2008 年 4 月までの 1 年間における直物為替レート(円 / \$)と先物為替レート(円 / \$)の関係を回帰分析で調べたら、直物為替レート = 0.00023 + 0.92 × 先物為替レートという結果を得た。この結果についての正しい解釈はどれか

先物為替レートの係数はプラスであり、直物為替レートとの間には正の相関があり、両者の間には裁定が働いているといえる。(裁定が働いているためには、相関関係だけでは不十分。係数にも制約が必要)

先物為替レートの係数は1から大きく離れており、両者の間には裁定が働いているとはいえない。 (裁定が働いているためには、係数はほぼ1に近いはずである)

直物為替レートが先物為替レートに比べて、約8%低いということは、この1年間、先物が予測したよりも、平均的に円高であったということになる。 (推計式は、直物が先物の約92%であったということをしめしている。)

直物為替レートが先物為替レートに比べて、約8%低いということは、この1年間、先物が 予測したよりも、平均的に円安であったということになる。

# 解答

問題 1: 1: 、2

問題2:

問題 3:

問題4:

問題 5:

問題 6:

正解は、各 10 点で合計 100 点。 合格点 60 点以上。

正解が2つの問題は、2つ正解のとき20点。 正解が1つだけ含まれていても、2つ以上正解を選んだとき0点。

正解が1つの問題は、正解のとき10点。 正解が含まれていても、2つ以上正解を選んだとき0点。